

あなたの夢を みんなで見実現！ 18-20⁺¹ Vol.13

2021年11月1日発行
 まちだ〇ごと大作戦実行委員会事務局
 (町田市役所広報課まちだ〇ごと大作戦担当)
 〒194-8520
 東京都町田市森野2-2-22 市庁舎4階
 TEL 042-724-4084
 FAX 042-724-1171
 Mail:mcity3260@city.machida.tokyo.jp

本紙は不定期発行です。

まちだ〇ごと大作戦レポート

★まちだ〇ごと大作戦は新型コロナウイルスの影響を考慮し、実施期間を1年延長し、2021年末までとなりました。

市制施行60周年に当たる2018年にスタートした「まちだ〇ごと大作戦18-20」は、9月末で提案・アイデアの募集を終了し、12月末で事業終了を迎えます。4年間で316件のエントリーがありました。まちだ〇ごと大作戦実行委員会の深澤勝委員長(町田商工会議所会頭)、安達廣美副委員長(町田市町内会・自治会連合会会長)、石阪丈一町田市長が〇ごと大作戦の発足当時の様子や数々の作戦を振り返り、町田の未来について語りました。

〇ごと大作戦のはじまり

「2018年の市制施行60周年は、町田市全体で祝う雰囲気になりたいとの発想から、『まちだ〇ごと大作戦』というネーミングで市民の一体感、互いの活躍を称え合う機会をつくろうというのが当初の狙いでした。市民がやってみたい作戦を自由に展開してもらうために、市役所が主導するのではなく、実行委員会に運営をお願いしました。」
 「また、〇ごと大作戦は市職員の意識を変えるチャンス、規制や規則を見直し、緩和する努力をしますとお約束しました。」



「町田商工会議所では設立25周年を迎えた時、『ヒトと共にヒトを創り、ヒトを活かす街をめざして』というまちの中長期ビジョンを策定しました。実行委員会の話をいただいた時、人と人のつながりをつくろうという〇ごと大作戦の趣旨が私どものビジョンと同じだと賛同し、お引き受けしました。」



「はっきり言って最初は市の意図が分かりませんでした(笑)。地区協議会が立ち上がって間もない時期で、市から何かやらされるのではないかと心配しました。」



座談会

まちだ〇ごと大作戦って何だったのか!



印象的だった作戦は

「『ようこそ!鶴川 OMOTENASHI大作戦』では、鶴川にある香山園がイベントの会場になりました。まだ整備されていない施設を使用する等、自由勝手にやるという意味では一番印象的でした。また、小野路の万松寺谷戸や三輪緑地に訪れたときに、『ナラ枯れ・カシナガ捕獲大作戦』が実施されていて、カシナガキクイムシを捕獲するトラップに『〇ごと大作戦』と記載されているのを見つけました。〇ごと大作戦実行委員会が認めている取り組みという安心感のようなものを感じたと同時に、〇ごと大作戦での市民活動が市内あちこちに広がっていることはすごいことだと感じました。」



〇ごとで見た町田力

「〇ごと大作戦で大事にしたのは、人と人のつながり、それも今まで出会ったことがない人と一緒に活動してほしいという趣旨でした。それを市民の皆さまは見事に実行していただきました。町田市民の皆さまは実に開放的だということが分かりました」

「当初は参加人数100万人、事業数300件という目標を立てました。最初の2年は順調に進み、3年目からコロナの影響がありました。参加人数は200万人を超えました。コロナ禍で会えない中でもSNSやオンラインなどを通じて市民と市民がつながり、絆ができたと感じています。」



「私が印象に残ったのは、学生の活躍が目立った『竹あかりのまち相原』とメディアでも取り上げられた『ユニカールで元気Up鶴川!元気Upまちだ!』。また、私も参加した『小山・小山ヶ丘フードドライブ大作戦』。地域の小・中学校の児童・生徒さんに呼びかけ、短期間にも関わらず127kgものたくさんの食品が集まりました。〇ごと大作戦では、たくさんの人との交流が生まれたという印象を持っています。」

「イベントのような楽しい企画だけではなく、子育て支援、認知症、引きこもりといった、地域の身近な課題を解決するような企画が多く見られました。そういう活動を生む市民のアイデアやパワーに驚きと喜びを感じました。」

「『鶴川団地活性化プロジェクト『団地名店街に行こう!』のグリーンスローモビリティや『鞍掛台買物・外出支援プロジェクト』の取り組みは、交通・福祉など様々な行政関係部署の垣根をこえて実現。また、コロナ禍の飲食業界を応援する取り組み『EATS FOR MACHIDA 支え愛プロジェクト』では青年会議所の皆さんが中心となってクラウドファンディングにチャレンジ。実施した方々にとっては成功事例として大きな自信になったのではないのでしょうか。」



座談会つづき

〇ごとのレガシーを未来へ

「〇ごと大作戦で生まれた人と人のつながりを行政はじめ、私たち市民は今後、いかに育て、将来に結び付けていくべきかを考えていかなければならないと思います。市内で活動する団体がイベントやまちづくりの活動をそれぞれ展開していますが、その情報を集約して発信していくことが必要だと感じています。」



「この〇ごと大作戦は行政の取り組みに市民に参加するという従来のスタンスではなく、市民の取り組みに行政が参加する「行政参加のまちづくり」と呼べる取り組みだったといえるのではないのでしょうか。参加された団体の方々、寄り添ってくれた市役所をすごく身近に感じたと思います。」



「市民の力を実感した4年間で、人と人の結びつきや困ったら誰かが助けてくれる人がいるということを感じることができた。市民の皆さんが自発的にやるという機運は醸成されていると思っています。今はコロナの影響があり、次に何かやる活動のエネルギーがきつと充満しているはず。このエネルギーが今後も多様な価値を生み、町田の未来を共に作る新しい力になっていくと確信しています。」



まちだ〇ごと大作戦 Pick-Up!

まちだ〇ごと大作戦終了まで残り2か月。予定されている取り組みの一部をご紹介します！
詳細は、まちだ〇ごと大作戦のホームページ内各作戦のページをご確認ください。



まちだジョギングフェスタ2021



2021年11月21日(日)に都立小山内裏公園でジョギングイベント(事前申込制)を開催します。陸上長距離元日本記録保持者の片岡純子さんと、2016年リオ五輪陸上女子10000m日本代表の関根花観さんによるウォーミングアップ指導のほか、地元の桜美林大学陸上競技部や地元ランニングクラブの伴走で、紅葉真っ盛りの園内をジョギングで巡ります。種目は1.2km、3km、7km。小学生以上であれば参加できます。町田市小山地区の自然豊かな公園と尾根緑道をジョギングし、心も体もリフレッシュしましょう！



町田市陸上競技協会と長きにわたり、地元のマラソン・駅伝大会のボランティアをしている市内ランニングクラブが協力。

秋の四季彩の杜プロモーション大作戦

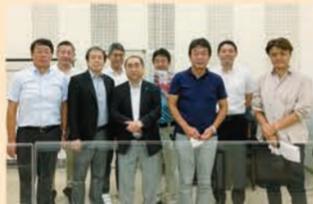
薬師池公園四季彩の杜エリア全体のプロモーション企画として、スタンプラリーを2021年11月30日(火)まで実施します。



西園、薬師池、フォトサロン、リス園、ダリア園、七国山ファーマーズセンター、ふるさと農具館に行ってみませんか。

また、西園では2021年11月6日(土)に茶会(事前申込制)、11月14日(日)まで「パークミュージアム894」を開催しており、玉川学園美術部のアート展示やワークショップが実施されています。薬師池では11月30日(火)まで紅葉のライトアップを実施。カエデやもみじが池に映り込むこの時期ならではの風景をお楽しみください。

街角ピアノ in 版画美術館 ~ベーゼンドルファーを弾こう~



創立60周年という節目を迎えた東京町田ロータリークラブが、幼児画展と同時開催します。

世界3大ブランドピアノの一つベーゼンドルファーのグランドピアノが国際版画美術館にあります。そんな名器と呼ばれるグランドピアノを市民が弾く機会をつくる取り組みです。2021年12月10日(金)~12月12日(日)までの3日間で、計44人の方がこの名器を弾きます(演奏の申込は終了)。ぜひ44人の街角ピアニストの演奏を鑑賞しに版画美術館にいらしてください。



相原〇っと大作戦 ~竹と音楽でつながる街~



相原地域に親しみを持ってもらえる人を増やしたい！地元の学生が地域の方々や地元の団体と一緒に相原を盛り上げる取り組みです。

2021年12月17日(金)~12月26日(日)の期間にJR相原駅でストリートピアノ実施します。相原駅自由通路にアップライトピアノを設置します。ピアノの腕前を披露したいとお考えの皆さん、ぜひ自由に演奏して相原を盛り上げてください！



最新情報はこちら ハッシュタグ「#まちだまるごと」で情報収集・情報発信!!



まちだ〇ごと大作戦の詳細は、実行委員会ホームページをご覧ください。

まちだ〇ごと

検索



まちだまるごと 大作戦18-20

Facebook



まちだ〇ごと 大作戦18-20 (daisakusen18_20)

Twitter



まちだまるごと 大作戦18-20 (machida_marugoto_18_20)

Instagram



まちだ〇ごと 大作戦18-20 公式チャンネル

YouTube



リサイクル適性 A この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

お問合せ先：まちだ〇ごと大作戦実行委員会事務局 TEL 042-724-4084